

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課、高速道路課
担当課長名：村山 一弥、伊勢田 敏

事業名 京奈和自動車道 一般国道24号 <small>やまときた</small> 大和北道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局 西日本高速道路(株)			
起終点 自：奈良県奈良市八条三丁目 <small>な なら はちじょうさんちようめ</small> 至：奈良県大和郡山市横田町 <small>やまとこおりやま よこたちよう</small>	延長	6.3km			
事業概要 京奈和自動車道は、京都、奈良、和歌山の都市間を効率的に連携する延長約120kmの高規格幹線道路である。 大和北道路は、京奈和自動車道の一部として高速道路ネットワークを形成し、広域的なアクセス性向上により周遊観光行動を支援するとともに、奈良市と大和郡山市を南北に縦断する一般国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした道路である。					
H20年度事業化	H19年度都市計画決定 (H-年度変更)	H25年度用地着手	H-年度工事着手		
全体事業費	850億円	事業進捗率	約4%	供用済延長	—km
計画交通量	22,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 平成29年	
	(事業全体) 1.7 (4.1)	(残事業)/(事業全体) 1,899/1,967億円 事業費:1,835/1,903億円 維持管理費: 64/64億円	(残事業)/(事業全体) 3,329/3,329億円 走行時間短縮便益: 3,037/3,037億円 走行経費減少便益: 244/244億円 交通事故減少便益: 49/49億円		
感度分析の結果 【事業全体】 交通量: B/C=1.4~2.1 (交通量 ±10%) 【残事業】 交通量: B/C=1.4~2.1 (交通量 ±10%) 事業費: B/C=1.5~1.9 (事業費 ±10%) 事業費: B/C=1.6~1.9 (事業費 ±10%) 事業期間: B/C=1.5~1.7 (事業期間±20%) 事業期間: B/C=1.6~1.8 (事業期間±20%)					
事業の効果等 ①高速ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・京奈和自動車道の周辺地域には世界文化遺産をはじめとした観光資源が豊富にあり、奈良県の観光客数は平成17年に比べて約1千万人増加するなど増加傾向にある。 ・京奈和自動車道の整備により、京都～奈良～和歌山のアクセス性が向上し、広域的な周遊観光の支援が期待できる。 ②交通混雑の緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・大和北道路と並行する一般国道24号の交通量は交通容量を超過しており、朝夕ピーク時には慢性的に渋滞が発生している。 ・大和北道路の整備により、大和北道路に交通が転換し、奈良市周辺地域の交通円滑化が期待される。 ③交通安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・大和北道路と並行する一般国道24号区間で発生する事故は、渋滞などに起因した追突が全体の約6割を占めており、死傷事故率は奈良県平均を上回る状況にある。大和北道路の整備により、交通転換が図られることで、一般国道24号における事故減少が期待される。 					
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見： <ul style="list-style-type: none"> ・京奈和自動車道整備促進期成同盟会(S63.10設立、奈良県内の全市町村(13市14町12村))より整備促進の要望を受けている。 ・京奈和自動車道建設促進奈良県民会議(H6.7設立、奈良県を代表する民間団体(72団体))より整備促進の要望を受けている。 ・京奈和自動車道建設促進協議会(H8.10設立、京都府、奈良県、和歌山県)より整備促進の要望を受けている。 					

奈良県知事の意見：

本事業は京都・奈良・和歌山を結ぶ、高速道路ネットワークを形成するもので、関西経済を活性化させる重要な道路です。

このため、直轄道路事業予算の確保とともに、有料道路事業の活用により早期整備が図れるようお願いいたします。

京都府知事の意見：

京奈和自動車道は、世界遺産等の観光資源や関西文化学術研究都市等の地域資源を結ぶ重要な道路であるとともに、京都府内の高速道路ネットワークとあわせ、京都・奈良・和歌山をつなぐ新たな近畿の南北軸が形成されることから、京都府を含む近畿全体で大きな効果が見込まれ人・モノの交流の促進が期待されます。

大和北道路に有料道路事業を活用し、整備の促進及び早期の完成をお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

H30.3.16の第16回事業評価部会で審議し、妥当であると意見を頂いている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

京奈和自動車道は新たな開通に伴い交通量が増加しており、沿線では企業立地が進展している。

奈良市周辺の一般道路では、地域交通に加え通過交通が多く混在している。一般国道24号の交通量は依然として交通容量を大幅に超過しており、朝夕のピーク時には慢性的な渋滞が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに地質調査・測量が完了し、道路・橋梁予備設計を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

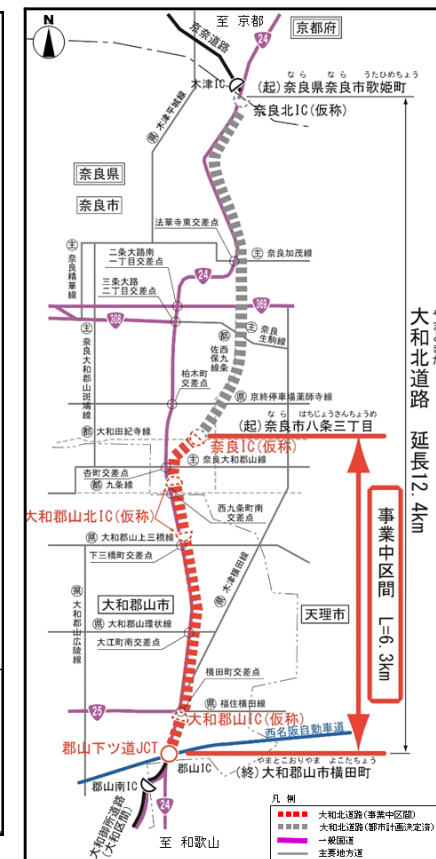
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。